

令和8年 参宮事業（参宮紙札配付）マニュアル



※実際の大きさとは異なります。

令和8年1月 伊勢御遷宮委員会

令和7年12月19日 Ver

1. 事業の趣旨・目的

「一生に一度はお伊勢さん」と称される「お伊勢参り」は、かつて人々の憧れの旅でした。江戸時代には「お伊勢参り（お蔭参り）」が流行し、伊勢を目指す旅人が柄杓ひしやくを携えるようになりました。伊勢神宮に参拝することを「参宮」といい、「参宮」の目印となる柄杓を持つことで、道中いろいろな人々からおもてなしを受け、「お蔭参り」を成し遂げたといわれています。

この「参宮事業」における参宮紙札配付の目的は、令和8年・9年のお木曳行事、また令和15年の神宮式年遷宮に向けて、伊勢神宮周辺地域の人々が、参拝者に「おもてなしの心」で接し、参宮された証として、この「参宮紙札」をお渡しすることで、お客様の再来訪と周辺地域の周遊促進に繋げることを目指しています。また参宮紙札に干支を刻印し、1年に1度は参宮にお越しいただくことを目的とする。

2. 配付概要

配付対象地域 : 伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町、玉城町、度会町

配付対象施設 : 配付対象地域の商工会議所・観光協会会員 旅館組合等所属事業所等

配付開始日 : 令和8年1月1日（木）より順次配付～令和8年12月31日（木）まで
※各店舗様の可能な限りで結構です。（毎日配付可能）

※令和8年の干支である『丙午』（ひのえうま）を刻印しているため、
12月末をもって配付を終了してください。

※数に限りがありますので、期間内でも配付終了となる場合があります。

※令和9年の干支につきましては、改めてご連絡させていただきます。

3. 配付方法

参宮紙札は、ばらまきを目的としておりません。本事業の趣旨にご理解のうえ、お客様に必ずお声掛けし、直接「参宮紙札」をお渡しください。このことから、窓口など「ご自由にお持ち帰りください。」と書いた状態で置かないでください。

《お声掛けの例》

お客様に「お参りはされましたか」とお声掛けし、参宮に訪れた方であれば、「こちらの参宮紙札はお持ちですか」と確認してください。

まだお持ちでなければ、以下のようにお伝えしてお渡しください。

伊勢神宮を詣でることを参宮といい、参宮された証として紙札をお渡しさせていただいております。今日の日付やお名前を記入し普段から持ち歩かれている物の中に入れてお持ちいただいて、この紙札を見たときに参宮のことを思い出し、また参宮にお越しいただき、お会い出来るのを楽しみにしております。なお、今年と来年にお木曳行事がございます。是非、来年も機会を見つけて参宮にお越しください。

※なお、お参りされる前に、お客様より参宮紙札をいただきたいと申し出があれば、
ご説明しお渡しください。

4. 参宮紙札のデザイン

- ・参宮紙札のデザインは以下を参照してください。※実施の大きさとは異なります。
- ・各施設には、紙札と説明文を封入した袋でお渡しします。
- ・配付時に使用する袋の表面には「参宮之証」、裏面には「伊勢御遷宮委員会」とQRコードが記載されています。

【参宮紙札】

表面



裏面



- ・紙札の表面には「参宮」と書いてあり、伊勢神宮に参拝することを参宮といいます。
- ・参宮と書かれた文字の印字は、全部で5種類ありますので、形の違いを見比べていただければと思います。
- ・裏面には今年の干支「丙午」が書かれています。
- ・神宮のお札にも使われている伊勢和紙で作られています。

【紙袋】



【参宮説明文（丙午版）】



5. よくある質問 【配付店舗向け】

Q1. 参宮紙札はお守りですか？

→A) 参宮紙札は、参宮された証としてお渡しする物です。

Q2. 普段から持ち歩かれている物の中に入れてとありますが具体的にはどんな物ですか。また、なぜその中に入れるのですか？

→A) お財布やスマホケース・名刺入れなど、普段目に付きやすいところに入れてお持ちいただくことで、神宮や伊勢との繋がりを思い出し、また参宮へ行こうという気持ちになっていただきたいという思いからです。

Q3. 参宮に行かれる前の方にもお渡ししていいですか？

→A) 今から参宮に行かれる方であれば、参宮される前にお渡しいただいても構いません。その際には「良いお参りをしてください」とお声かけください。

Q4. 商品を購入した方のみにお渡しするのですか？

→A) 商品を購入されていない方にも、参宮をされた方（参宮をされる方）であればお渡しください。（商品の購入有無を問いません）

Q5. 参宮紙札は、一人1枚ですか？

→A) お一人に1枚お渡しください。

例：大人2人・子ども1人（乳幼児を含む）の家族であれば3枚お渡しください。

Q6. 子どもにも渡していいですか？

→A) 遠足や修学旅行などで、子どもたちだけで参宮に来られた場合でもお渡しください。

Q7. 一緒に来た方（家族・友人・知人など）の分も欲しいと言われた場合、渡してもいいですか？

→A) お渡しください。

Q8. 今日一緒に参宮に来ていない方（家族・友人・知人など）の分も欲しいと言われた場合、渡してもいいですか？

→A) 参宮の証としてお渡しする物ですので、出来る限り参宮に来られた方にお渡しください。

Q9. 来店される全ての方にお声掛けするのですか？

→A) コミュニケーションツールとして活用いただければと思います。数に限りがあるため、施設様の判断で配付してください。

Q10. 紙札を全て配り終えた場合、追加の紙札はもらえますか？

→A) 在庫数により対応を検討させていただきます。

裏面『8. 問い合わせ先』に記載の【配付（追加の希望）】に関するお問い合わせ】についての問い合わせ先へ直接ご連絡ください。（お渡しできない場合もありますのでご了承ください。）

※先着順となります。（1回250枚）

Q11. 紙札はいつまで配付していいですか？

→A) 紙札に干支を刻印しておりますので、令和8年12月末日までとなります。お客様にお木曳行事や神宮式年遷宮について説明いただき配付をお願いいたします。

6. よくある質問 【お客様向け】

Q1. この紙札は何ですか？

→A) 参宮をされた証としてお渡ししています。

Q2. 紙札には何と書いてありますか？また、それはどういう意味ですか？

→A) 表面には「参宮」と書いてあり、伊勢神宮に参拝することを参宮といいます。

裏面には今年の干支「丙午」（ひのえうま）と書いてあります。

Q3. 紙札はどこで配付していますか？また、施設を利用（宿泊や商品の購入）しないともらえませんか？

→A) 伊勢市内や鳥羽・志摩など近隣地域などの一部の店舗でお渡ししています。

詳しくは、伊勢御遷宮委員会のホームページをご覧ください。

また、施設を利用（宿泊や商品の購入）しなくてもお渡しさせていただきます。

Q4. この紙札はどこにしまっておいたらいいですか？また、持っているとか何か御利益がありますか？

→A) 日付やお名前を記入し、普段から持ち歩かれている物（お財布、スマホケース、名刺入れ等）

に入れてお持ちください。この紙札を見ていただくことで、神宮や伊勢との繋がりを思い出し、また参宮へ行こうという気持ちになっていただけたら幸いです。

Q5. 子ども（乳児・幼児含む）の分もいただけますか。

→A) お渡しさせていただきます。

Q6. 紙札を配付している複数の店舗に行ったら、その都度もらっていいですか？

→A) 参宮された多くの方にお渡しさせていただきたいので、お一人1枚でお願いいたします。

Q7. 家族（友人・知人）と来ているので、その分もいただけますか？

→A) お渡しさせていただきます。

Q8. 参宮に來れなかつた家族の分も、私がお参りに來たのもらえませんか？

→A) 参宮の証としてお渡ししている物ですのでご理解ください。

Q9. いつまで配付していますか？

→A) 令和8年12月31日までとなります。

Q10. 次回、参宮に來た時に紙札をもらったら、最初にいただいた紙札はどうしたらいいですか？

→A) 新たにお渡しさせていただいた紙札を、お財布等に入れてお持ちいただき、以前の紙札は、ご自宅に置いて思い出としてお持ちいただければと思います。

7. その他留意事項

- ・転売行為を禁止しています。

8. 問い合わせ先

【概要】 および【よくある質問】等については
伊勢御遷宮委員会事務局

〒516-0037 三重県伊勢市岩渕 1-7-17

TEL : 0596-25-5215

担当：森本

【配付（追加の希望）等に関するお問い合わせ】について

◆伊勢市以外の店舗様は

(公社) 伊勢志摩観光コンベンション機構

〒519-0609 三重県伊勢市二見町茶屋 420-1

TEL : 0596-44-0800

◆伊勢市内の店舗様は

(公社) 伊勢市観光協会

〒516-0074 三重県伊勢市本町 16-2

TEL : 0596-28-3705

※1回にお渡しする紙札については250枚（5種類×各50枚）となります。

なお、先着順となり、無くなり次第、終了となります。